

平成 28 年度
大阪ペピイ動物看護専門学校
学校自己評価報告書

平成 29 年 1 月

学校法人宮崎学園
大阪ペピイ動物看護専門学校

平成 28 年度 大阪ペピイ動物看護専門学校 学校自己評価報告書について

専門学校による学校自己評価の実施及び公開が義務化されてから、本校では平成 24 年度より学校自己評価委員会を設置し、自己点検・評価を実施しております。この程、平成 28 年度学校自己評価報告書を取りまとめることができましたので、ご報告させていただきます。

本報告書は、JAMOTE 認証株式会社の自己点検・評価表 (ISO29990 対応版 Ver.3.2a) に沿って学校自己評価を実施いたしました。また、本報告書については、本校のホームページに掲載し、関係者の方々へ広く情報公開を図っているところです。

実施するにあたっては、まず「学校の教育目標」を明示し、「平成 28 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」と「ISO29990 対応版 Ver.3.2a」にある 105 項目毎に自己評価を行い、「平成 29 年度に重点的に取り組むことが必要な目標や計画」を策定しました。わかりやすい表現を心がけ、多くの方々に本校の理念や教育方針、学校運営、教育活動等について、ご理解をいただけるよう努めました。

また、学校自己評価の成果が学校運営や教育活動に反映されるようにとの主旨から、学校自己評価委員会を設置し、実施のプロセスと結果を全教職員に周知徹底いたしました。

今後も学校自己評価を継続して実施・公開するとともに、学校関係者評価委員会を設置し、学校関係者評価の実施にも取り組んでまいります。改善すべきところは真摯に受け止め、教育の質を保証できるよう尽力してまいります所存です。

関係者の皆様には、本報告書をお読みいただき、ご意見、ご質問等をお寄せいただきますよう何卒お願い申し上げます。

平成 29 年 1 月
学校法人 宮崎学園
大阪ペピイ動物看護専門学校
学校長・学校自己評価委員会委員長
澄田 新

学校自己評価委員会

委員長 澄田 新(学校長)
副委員長 永井 正三(副校長／事務局長)
委員 深田 恒夫(学術顧問)
青木 理子(就職委員長)
浅井 知香(教務委員長)
檜山 道成(学生委員長)

平成28年度自己評価

1. 学校の教育目標

理念
動物との絆を通じ、慮る心、生命への共感を育み人と動物の調和のとれた社会創りに貢献する

スクールモットー
慮る

教育目標
専門知識と技術を習得し、問題解決能力と動物看護実践能力を身につけた人間を育成する
人間関係を良好に維持できるコミュニケーション能力をもった人間を育成する
動物医療の質の向上をめざし、社会のニーズに応じた地域貢献のできる人間を育成する

育成人材像
「慮る」精神をベースに「合格力」「実践力」「コミュニケーション力」を備えた動物看護師を育成する

2. 平成28年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

	重点目標・計画	評価	総括	特記事項
1	教育力と学生指導力の向上	4	教職員研修を充実させ、個人研究費制度を利用した学会・セミナーの参加等により、動物看護に関する専門知識と技術、パソコンスキル、学生指導力の向上に努めた。また、獣医学術近畿地区学会やアカデミックフェスタにおいて研究発表を行った。	
2	新日本カレンダー(株)が運営するペット共生型高齢者住宅「ペピイハッピープレイス(PHP)」と連携したカリキュラム開発	3	PHP事業の遅れから、カリキュラム検討プロジェクトにおいて予定していたPHPと連携したカリキュラム開発は出来なかったが、将来に向けて学科の新設や改組、カリキュラム等の見直しを始めた。	継続して学科の新設や改組、カリキュラム等の見直しに取り組むとともに、PHPとの連携を模索する。

3	防災訓練の実施と食糧等の備蓄	4	10月25日に学生と教職員による防災訓練を実施するとともに、教職員は12月から阿倍野防災センターにおいて防災訓練を受け、3月には食糧等の備蓄を行った。	
4	1年生の離脱者を8%以下に防止	3	1年生の離脱者は確定9名、予備5名、合計14名、11%(1月23日現在)となり、目標の8%以下は達成できなかった。 学習サポートプロジェクトにおいて学生支援策を立案し、クラス担任が中心となり学習支援に取り組んだ結果、成績不良による離脱者は減少したが、学校として進路変更や体調不良による離脱者防止対策が十分できなかった。	平成29年度は教務委員会等において、学習サポートとともに進路変更や体調不良学生対策に取り組み、引き続き学校として学生支援を行い離脱者を防止する。
5	動物看護師統一認定試験合格率100%達成	3	予備校講師による受験テクニック講座を開講するなど、試験対策担当教員が中心となって、全日本獣医師協同組合と連携して全員合格を目指して取り組んだが、125名受験、〇〇〇名合格、合格率〇〇%となり目標は達成できなかったが、5年連続高い合格実績を達成した。	引き続き全日本獣医師協同組合と連携して、学生実態に合わせた試験対策を行うことにより合格率100%を目指す。
6	就職決定率100%達成	3	就職希望者全員が就職できるよう就職委員会とクラス担任が中心となり就職活動のサポートに取り組んだが、就職決定率91%(1月23日現在)と目標を達成できなかった。	引き続き就職委員会とクラス担任が中心となり就職支援に取り組むことにより就職決定率100%を目指す。
7	新入生160名確保	2	早期化する進学活動に対応して学生募集活動に取り組んだが、例年に比べ既卒者と男子学生が減少したため、新入生は126名(1月23日現在)となった。	学生募集対策だけでは募集定員160名の確保は難しいため、学科の新設や改組等の抜本的な対策が必要となっているので、引き続きカリキュラム検討委員会において検討する。
8	財務体質の改善	4	所有する隣地を新日本カレンダー株式会社に売却し、銀行の借入金を全額返済したため、財務体質の改善ができた。	

3. 平成29年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

	重点目標・計画	達成方策
1	教育力と学生指導力の向上	学内研修と個人研究費制度を充実させることによって、教職員の教育力と学生指導力等を向上させる。学会・セミナーの参加、学会発表等により、動物看護に関する専門知識と技術、パソコンスキル、学生指導力の向上に努める。
2	新日本カレンダー(株)が運営するペット共生型高齢者住宅「ペピイハッピープレイス(PHP)」と連携したカリキュラム開発	カリキュラム検討プロジェクトにおいて、継続して学科の新設や改組、カリキュラム等の見直しに取り組むとともに、PHPとの連携を模索する。
3	1年生の離脱者を8%以下に防止	平成29年度新入生から、生物基礎や数学を入学前教育として実施する。また、動物看護師に必要な数学等を学ぶ「総合学習」を開講し、補講やクラス担任による個別学習サポートを実施するとともに、教務委員会等において、学校として進路変更や体調不良学生対策に取り組む、1年生の離脱者を8%以下に抑える。
4	動物看護師統一認定試験合格率100%達成	年間計画に沿って計画的に試験対策を実施するとともに、成績不良者に対する支援を強化することによって合格率100%全員合格を達成する。
5	就職決定率100%達成	クラス担任と就職担当スタッフが連携して個別サポートを行うとともに、授業として「キャリアデザイン」を開講し、学内就職セミナーや保護者向け就職セミナー等の就職サポートプログラムと連動して就職決定率100%、全員就職を目指す。
6	新入生160名確保	早期化する進学活動に対応した学生募集対策によって新入生160名の確保を目指す。
7	財務体質の強化	中期財政計画に沿った新規事業や施設・設備の大規模改修等の目的を限定した特別会計を設ける。
8	就業規則等の整備	現状に即した就業規則の見直しを行う。

4. 平成28年度評価項目の達成及び取組状況

評価(4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切)

1 教育理念・目標		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
1	1	4	学校案内、ホームページ、学生便覧	本校は理念に基づいて、動物看護師を養成する単科の専門学校として、スクールモットーや教育目標、育成人材像を定め教育活動を行っている。	4.2
1	2	4	学校関係者評価委員会議事録、教育委員会議事録、教職員研修会資料	学校関係者評価委員会や農林水産省認可の全日本獣医師協同組合と定期開催している教育委員会において、業界の動向と動物病院のニーズを把握して将来構想を描いている。	3.1.1
1	3	4	教育課程編成委員会議事録、教育委員会議事録、教職員研修会資料、教務委員会議事録	動物看護師を養成する単科の学校として、1-2の通り業界や動物病院のニーズを把握して、学科の教育目標と育成人材像を定めている。	3.1.2 e)
1	4	4	学校案内、ホームページ	本校は開学以来、農林水産省認可の全日本獣医師協同組合の監修・指導を受けて、教育課程の編成や施設・設備の整備等を行い、動物病院で必要とされる最新の知識と技術を身に付けた動物看護師を養成していることが特色となっている。	3.1.3 a)
1	5	4	学校案内、ホームページ、学生便覧、オープンキャンパス保護者説明会資料、教育懇談会資料、教育振興会資料	学生や保護者等には入学式や卒業式、オープンキャンパス、教育懇談会、教育振興会、学生便覧、ニューズレターにおいて、理念や教育目標、育成人材像、特色等を周知している。	3.3.1 a)

2 学校運営		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
2	1	4	設置認可通知書、寄付行為認可通知書、職業実践専門課程申請書	設置基準と寄付行為、学則、職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営を行っている。	4.1 x)
2	2	4	学校組織図、組織規程、会議規程、委員会規程、職務分掌規程	運営組織と意思決定機能は、学校組織図と組織規程、会議規程、委員会規程、職務分掌規程によって明確に定めている。	4.1
2	3	4	学校組織図、組織規程、事務決裁規程、稟議規定、 学内規程一覧	学内規程一覧にある稟議規定や組織規程等により、意思決定システムは明確に整備している。	4.1
2	4	4	平成27年度事業計画、平成27年度中期事業計画	理念や教育目標に基づいて、単年度事業計画及び中期事業計画を策定し、計画に沿って学校運営を行っている。	4.2
2	5	3	学校管理運営方針、平成28年度事業計画、平成27年度中期事業計画	学校管理運営方針を策定し、事業計画に沿って学校運営を行っている。	4.2
2	6	4	就業規則、給与規則、旅費規定、慶弔金及び見舞金支給規則、退職金規則、定年退職者勤務延長及再雇用規定、嘱託員規定、育児休業規則、介護休業規則	人事及び給与に関する規則・規定を整備して適切に運用している。	4.1
2	7	4	コアカリ科目内容読み替え表、教員配置一覧	コアカリキュラムの科目毎に、専任教員(動物看護師・獣医師・トリマー)と非常勤講師を適切に配置している。	4.6.1 4.6.2 e)
2	8	4	専任教員授業担当表	専任教員の負担が大きくなるように考慮して、専任教員の講義・実習科目の持ちコマを決定している。	4.6.1 4.6.2 e)
2	9	3	講師会資料	講師会を年2回定期的に開催し、教育理念や教育方針、育人人材像、成績評価方針等を共有し、意見交換をすることによって教育内容を改善している。	4.7
2	10	4	ホームページ問合せ窓口、 問合せ対応表、問合せ報告書	ホームページに問合せ窓口を設けて、担当部署がフォローチャートの手順に沿って対応し、問合せ報告書を作成して保存している。	4.10
2	11	4	学校案内、ホームページ	学校案内やホームページにおいて、教育活動を適切に情報公開している。	3.3.1 x)
2	12	4	学校システム、会計システム、給与システム、資産管理システム	学生募集、学籍、成績、就職、卒業生、会計、給与、資産管理等に関する情報は、各種システムにより効率化を図り、適切に管理・運用を行っている。	4.7 x)

2 学校運営		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
2	13		教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	理事長会議議事録、マネジメントレビュー報告書	理事長会議において、下記のエビデンスや成果指標等を基にマネジメントレビューを行い、見直しに至った経緯や結果をマネジメントレビュー報告書として記録することによって、適切な学校運営と教育活動に結び付ける。 ①学校が定めた重点目標及び計画の達成状況 ②マネジメントシステムにおける不適合の特定及び解決 ③内部監査及び外部監査結果と改善要求事項及び是正処置 ④授業評価報告書 ⑤その他理事長会議で必要と認めた事項	4.3
2	14		学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	3	クレーム対応表、クレーム報告書	学生や保護者等からの苦情や要請等の対応に関しては、担当部署やクラス担任等がクレーム対応表に沿った対応を基本とし、クレーム内容によっては校長や副校長、事務長等と相談して対応するようしており、処理後にクレーム報告書を作成し、教職員で情報を共有している。 特記事項:平成29年度から、予防処置として「ヒヤリ・ハット報告書」を作成し、教職員で情報を共有しクレームの予防に取り組む。	4.4
2	15		学生及び保護者等が不満を抱いている場合や、学校側と意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	3	学生便覧	オリエンテーション時に相談やクレームの窓口や受付方法を案内しているが、学生便覧に相談やクレームの窓口や受付方法を記載していない。 特記事項:平成29年度から相談やクレームの窓口や受付方法を学生便覧に記載して周知徹底する。	3.3.1 d)

3 教育活動		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項	
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	学生便覧、授業科目概要、教育到達レベル	授業科目概要において、修業年限に対応した授業科目を配当しており、科目毎にテーマや授業内容・目標、授業計画、授業方法、成績評価方法、テキスト等を明記している。	3.1.3 c) 3.3.1 b)
3	2	自主学習を含む学習時間・学習方法として、カリキュラムの目的や要件に対応し、学生の生活時間や学習時間に配慮した設計がなされているか	4	学生便覧、授業科目概要、学習サポート資料	カリキュラムの目的や要件に対応した講義科目や演習科目、実習科目を配当し、学生が無理のない範囲でレポート提出や予習・復習のできる授業計画を策定している。 また、実技の自主練習や到達点に達しない学生に補講等の学習サポートも実施している。	3.2.3 b)
3	3	講義科目の名称とその内容・時間配分に関し、機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4	コアカリ科目内容読み替え表	講義科目に関しては、90%以上機構推奨コアカリキュラムに準じたカリキュラムを実施している。	3.2.3 b)
3	4	実習科目の名称とその内容・時間配分に関し、機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	4	コアカリ科目内容読み替え表	実習科目に関しては、90%以上機構推奨コアカリキュラムに準じたカリキュラムを実施している。	3.2.3 b)
3	5	学習参加の前提としているスキルや要件などに不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	授業評価アンケート、成績一覧表、科目別成績一覧	授業評価アンケートや成績一覧表によって、学生のスキル等を確認している。	3.1.3 b)
3	6	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	教育課程編成委員会議事録、教育委員会議事録、教職員研修会資料	動物病院や獣医師会等から受けた要請や意見等を反映させた実習中心のカリキュラム編成を行い、獣医師と動物看護師等による実践的な授業を行っている。	3.1.3 d) 3.2.3 b)
3	7	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	カリキュラムポリシー	学科毎にカリキュラムポリシーを策定し、教育課程の編成・実施方針を定めている。	3.2.1
3	8	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか (学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか) (3段階評価:4・3・2)	4	授業科目概要	学科毎に科目概要を作成している。	3.2.3 a)
3	9	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	学生便覧、授業科目概要、時間割、教育委員会議事録	動物看護師統一認定試験に向けて教務委員会と試験対策担当教員が中心となって「試験対策講座」をカリキュラムの中に位置付け、全日本獣医師協同組合の協力のもと指導体制を整備している。	3.2.2
3	10	シラバスには到達目標が記載されているか (Can-Doを意識した到達目標の明示) (3段階評価:4・3・2)	4	授業科目概要	学習要領において、科目毎に到達目標を記載した授業科目概要を作成している。	3.2.3 a)
3	11	動物系関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか(その時間数はコアカリキュラムの時間数に合致しているか)	4	学生便覧、授業科目概要、インターン実習依頼書、インターン実習の注意、インターン実習評価表、コアカリ科目内容読み替え表	コアカリキュラムの授業時間に沿って実習授業とインターン実習を体系的に配置している。また、卒業年次に動物病院におけるインターン実習(80時間×2回)では、動物病院による評価を受けている。	3.2.3 c)

3 教育活動		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項	
3	12	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか(あるいはホームページなどで公開されているか) (3段階評価:4・3・2)	4	授業科目概要	新学期前のオリエンテーションや授業初回に学習要領を配布している。	3.3.1 a) 3.3.1 f)
3	13	実技・実習は講義と連動するなど、効果的学習に配慮されているか	4	授業科目概要、 カリキュラムツリー	教育効果を考慮してカリキュラムツリーを作成し、講義科目と実技・実習科目を連動させて配置するよう努めている。また、授業の組み立てを最初講義を行い、それから実習を行うようしている。	3.2.3 b)
3	14	カリキュラム(の作成・見直し等)に関し、定期的に外部者(動物看護師、獣医師団体等)の評価や意見を取り入れているか (3段階評価:3・2・1)	3	教育課程編成委員会議事録、教育委員会議事録	年2回実施している教育課程編成委員会と毎月実施している全日本獣医師協同組合との教育委員会において、カリキュラムの見直し等を実施している。	3.2.2
3	15	動物を使用する実習、実験などに関し、これらに関する倫理・動物の福祉についてマニュアルや規則が整備され、公表されているか (3段階評価:3・2・1)	3	学校飼育動物健康管理委員会議事録、動物実習に関する基本方針、学校飼育動物管理資料、授業科目概要	学校飼育動物に関しては、学校飼育動物健康管理委員会が学校飼育動物実習規程を策定し、平成27年度後期から学習要領(授業科目概要)に記載している。 上記以外に、学校飼育動物に関しては、健康管理体制、人獣共通感染症対策、適正飼育動物数、検疫体制、譲渡方針・譲渡方法、ワクチンプログラム等を整備している。	3.2.2
3	16	学生や保護者に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか (3段階評価:3・2・1)	3	学生便覧、授業科目概要、教育懇談会資料、教育振興会資料	学生便覧、授業科目概要に成績評価基準や単位認定基準、進級・卒業規程を明記し、学生と保護者に周知するとともに、保護者懇談会や教育振興会において詳しく伝えている。 特記事項:平成29年度より新年度が始まる段階で、保護者へ履修要項や事故・ケ発生時の対処法など、学生便覧より抜粋した資料を送付する。	3.5.1 b)
3	17	動物看護師資格にもっとも重要なインターンシップについて、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法などを事前に決めているか (3段階評価:4・3・2)	3	インターン実習依頼書、インターンシップ評価表	事前に学校からインターンシップ受け入れ動物病院へ実習内容や評価法について依頼をしているが、現状は実習内容や評価基準については動物病院に任せており、十分なコミュニケーションをとり決めていない。その他の情報を取り入れながら改善検討していく。 特記事項:学校と動物病院の関係や年間2回、毎回100名以上の学生がインターンシップを受けている現状と本校のスタッフ数から、動物病院と事前に十分なコミュニケーションを取ることは困難だと判断している。	3.2.3 c)
3	18	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか (第三者による授業評価を行っているか)	4	教育課程編成委員会議事録、学校関係者評価委員会議事録、教育委員会議事録	各委員会の外部委員(動物病院・獣医師会等)からの評価を、教育課程の編成や授業改善等に取り入れている。	3.5.1 c)
3	19	学生の成績情報等への閲覧制限が適切に設定され、個人情報保護への配慮がされているか	4	個人情報保護規定、個人情報保護に関する基本方針、システムへのアクセス権限とパスワード設定	個人情報保護規定、個人情報保護に関する基本方針を定め、 アクセス権限やパスワードを設定 して個人情報保護に努めている。また、職員室内での個人情報の管理を強化する必要がある。	3.5.2 a)

4 学修成果		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項	
4	1	学生の学修成果の評価に際して、育成人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	進級・卒業規程、学生便覧、授業科目概要	授業科目概要に科目毎の評価基準を明示し、進級・卒業規程に従って適切に評価・判定している。	3.5.1 x)
4	2	就職率の向上が図られているか (3段階評価:3・2・1)	3	就職実績表(過去5年分)	過去5年の就職率は %、卒業者に占める就職者の割合は %、就職決定者のうち動物病院への就職率は %と、目標とする動物病院に高い就職率で就職している。	3.5.3 c)
4	3	資格取得率(動物看護師統一認定試験合格率)の向上が図られているか (3段階評価:4・3・2)	4	合格実績表(過去4年分)	過去4年の合格率は %、合格者数は 名と高い合格実績を達成している。	3.5.3 c)
4	4	退学率の低減が図られているか (学生の進級率と卒業率はどうか) (3段階評価:4・3・2)	4	職業実践専門課程申請書(過去3年分)、退学率一覧、 進級率一覧、卒業率一覧	平成27年度よりサポート体制を整備し学習サポート等を徹底した結果、学習面での退学率は %と低減したが、学習面以外での退学者が増えたため、今後対策が必要となる。過去3年間の平均退学率は %となっている。	3.5.3 c)
4	5	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか) (3段階評価:3・2・1)	3	ホームページ就職情報	クラス担任が卒業後の支援窓口となっており、希望者には就職担当職員が就職情報の提供等の支援を行っている。また、卒業生の学会発表等の社会的活躍は把握している。	3.2.2
4	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	4	統一認定試験合格率、成績一覧表、 講師会資料	動物看護師統一認定試験に100%合格を目標としている。また、授業の単位取得率を90%以上、期末試験平均点を75点を目標として、成績一覧表によって目標達成度を評価している。	3.5.1 a)
4	7	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	目標発表会資料、人事考課表、教育課程編成委員会議事録、教育委員会議事録。授業評価アンケート	学生による授業評価以外に、年2回目目標発表会と人事考課を行っている。また、教育課程編成委員会や全日本獣医師協同組合との教育委員会において、カリキュラムの評価を含めた教育課程の検証を行っている。	3.5.1 b)
4	8	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績証明書、卒業証明書	社会的通用性の高い証明書を発行している。	3.5.2 a)
4	9	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	3	授業科目概要、授業自己評価表、授業評価報告書、授業改善要求書、授業是正報告書	動物看護師統一認定試験に合格することを目的に、授業科目毎に到達目標を設定している。後期授業終了時には到達目標に対する授業自己評価表及び授業評価報告書を提出し、教務委員会にて評価を行っている。 特記事項:平成28年度後期授業より実施するため、平成29年3月以降に授業評価報告書を基に教務委員会が監査を行い、是正処置が必要な場合は授業改善要求書により改善要求を行い、該当教員は授業是正報告書を提出し、授業の改善に取り組む。	3.5.3 c)
4	10	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	事業委託契約書	株式会社ペピイと委託契約を結び、継続教育(卒後教育)を実施している。	3.1.2 b)
4	11	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	卒業生アンケート	平成28年度は卒業生アンケートの実施が出来ておらず、今後の実施時期や内容など再検討する必要がある。本学の教育が卒業後のキャリア形成に役立ったか、また、本学の教育に対する要望等を把握し教育活動の改善に活用していく。	4.4

5 学生支援		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
5	1		進路・就職に関する支援体制は整備されているか (またそれはきちんと学生や保護者に周知されているか) (3段階評価:3・2・1)	3	学校組織図、学生便覧、就職サポートプログラム、就職ガイダンス資料、就職相談記録、保護者向け就職セミナー資料	就職委員会が中心となり、クラス担任と就職担当職員が連携して支援する体制を整備しており、学生や保護者にも周知している。	3.1.2 c)
5	2		学生相談に関する体制は整備されているか (相談窓口が設置されているか) (3段階評価:3・2・1)	3	学校組織図、学生便覧、学生個人カード、カウンセリング予約申込表、学校医就任承諾書	定期的なクラス担任による個人面談や、相談内容に応じてスクールカウンセラーや就職担当、学校医と連携しサポートする体制を整備している。	3.1.2 c)
5	3		保護者と適切に連携しているか(保護者のニーズを把握しているか) (3段階評価:4・3・2)	4	教育懇談会資料、保護者向け就職セミナー資料、教育振興会資料、ニュースレター、学生個人カード	保護者懇談会や保護者向け就職セミナーを開催して、教育活動や就職活動等に関する情報を提供し、個別面談を行っている。 また、保護者と連携して学生を支援することを目的に教育振興会(PTA)を設置し、ニュースレターを発行している。	3.1.2 e)
5	4		社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	学生個人カード、運営会議議事録	個人面談時にクラス担任が社会人学生の要望等について把握し、関連部署が個別に対応しているが、社会人担当窓口は設置していない。 特記事項:運営会議で協議した結果、現状通りクラス担任が窓口となり対応すると決定した。何か問題が発生した場合はその都度、運営会議で協議する。	3.1.3 c)
5	5		卒業生への卒業教育等の支援体制はあるか	4	継続教育プログラム	卒業教育として動物看護師に必要な継続教育プログラムを提供している。	3.2.2
5	6		図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	学生便覧	入学時に配布する学習要領の中に、学校施設の使用方法やカウンセリングの申込方法、ハラスメント相談窓口等を明記し、オリエンテーションで周知している。	3.3.1 e)
5	7		奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	学生募集要項、奨学金説明会資料	経済的支援制度として本学独自の特別奨学生制度や遠隔地学生支援制度等を整備しており、公的奨学金等の支援体制も整備している。	3.3.1 x)
5	8		学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	4	学生便覧、学校保健安全に係る規程、学校医就任承諾書、カウンセリング記録、健康診断受診者一覧	毎年、定期健康診断を実施している。病気や怪我等に関しては、クラス担任が窓口になって、学校医・スクールカウンセラーと連携し対応している。	3.5.2 b)
5	9		授業についてこられない学生に対して、リメディアル教育や他コースの紹介などの支援策を実施しているか	4	学校組織図、学習サポートプロジェクト議事録、学生個人カード	学習サポートプロジェクトが中心となりクラス担任と連携して、全学年に対して学習サポートに取り組んでいる。	3.5.2 b)
5	10		課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	資格取得講座一覧	現在、部活動のような課外活動は行っていないが、学校が推奨する資格取得に対して、課外で資格取得講座を開講したり、教育振興会(PTA)より経済的な補助を行っている。 特記事項:課外活動に関する希望調査を実施、検討し支援体制の充実を図る。	3.3.1 x)
5	11		学生の生活環境への支援体制はあるか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	4	学生募集要項、遠隔地学生支援制度、学生マンション紹介制度	信頼できる学生マンション業者の紹介や、遠方より入学する学生に対して遠隔地学生支援制度を設け家賃補助を行っている。	3.3.1 x)
5	12		高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3	高校内ガイダンス参加一覧	高校内で行われる模擬授業等には参加しているが、高校と連携したキャリア教育は実施していない。 特記事項:要望があれば高校と連携したキャリア教育プログラムを検討する。	3.3.1 x)

6 教育環境		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
6	1	3	設置認可通知書、学校案内、保有施設一覧、時間割	クラス教室を整備しており、講義形式の授業はクラス教室で行っている。また、必要に応じてセミナーホールを使用している。	3.3.3 4.8
6	2	4	学校案内、保有施設一覧、保有機器一覧	検査実習室に学生数に見合った検査に必要な機器等を整備している。	3.3.3
6	3	4	学校案内、保有施設一覧、保有機器一覧、実習動物ノート	看護実習に必要な機器等を備えた看護実習室が2室あり、実習スケジュール表と個別の飼育動物スケジュール表により実習に必要な動物を管理している。	3.3.2 a), c)
6	4	4	設置認可通知書、保有施設一覧	自習ができる図書室を整備している。	3.3.3
6	5	4	学校案内、保有施設一覧、保有機器一覧	授業に必要なPC台数を備えたコンピュータールームを整備している。	3.3.3
6	6	4	定期検査報告書、保守作業報告書、教員担当一覧、部品在庫管理表	専門業者による定期的な施設・設備点検を実施している。また、実習施設や備品については、各教室担当者が管理している。	3.3.2 a)
6	7	4	時間割、教室使用一覧	教室管理一覧と教室使用一覧により、教室利用割り当て等の管理を行っている。	3.3.2 c) 4.8
6	8	4	研修計画、教育研修規定、個人研究費規程、学校安全・保健計画、避難マニュアル、災害発生時の基本対応	学校主催の教職員対象研修を実施するとともに、学外の学会・研修・セミナーに関しては、個人研究費制度を設け参加を推奨している。 AED講習会、防災訓練(全校対象)、防災体験講習会への参加(教職員対象)を実施した。 特記事項: 防災訓練に関しては、定期的に内容・回数等を見直し、実施に取り組む。	3.3.2 b)
6	9	3	消防計画書、避難マニュアル、災害発生時の基本対応	消防計画書を含めた防災マニュアルを策定し、防災に対する学内体制を整備しているが、危機管理全般をカバーできていない。 特記事項: 危機管理全般をカバーするマニュアルの整備に取り組む。	4.5 b)
6	10	4	固定資産明細表	実習施設は施設・設備管理台帳と備品台帳により管理しており、コアカリキュラムを履修できる実習施設を完備している。	4.8

6 教育環境		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
6	11	3	インターンシップ依頼書、インターンシップ評価表	<p>事前に学校からインターンシップ受け入れ動物病院へ実習内容や評価法について依頼をしているが、現状は実習内容や評価基準については動物病院に任せており、十分なコミュニケーションをとりきれていない。</p> <p>特記事項: 全ての関連動物病院と事前に十分なコミュニケーションを取ることは、現状では困難であるが、実習依頼書の記載内容や評価法に関する改善を検討する。</p>	3.3.1 a), b), f)
6	12	4	海外研修資料	<p>施設見学が中心の海外研修のため、現在のプログラムに対しての学生への教育は実施しているが、今後、研修先・内容の見直し・検討を行っていく中で、学生への指示・教育についても検討する。</p>	3.3.3

7 学生の受入れ募集		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
7	1	4	入学志願書、出願書類、合否判定会議議事録	入学志願書等の提出をもって選考試験を行い、合否判定会議において合否を判定し、出願書類は適切に保管している。	3.1.2 f)
7	2	4	入学志願書、調査書、卒業(見込み)証明書	出願時に出願資格を証明する書類を提出させており、調査書、卒業(見込み)証明書等は適切に保管している。	3.1.2 a)
7	3	4	学生募集要項	学生募集要項に出願資格、入試日程、選考方法を明記している。	3.3.1 g)
7	4	4	学生募集要項	学生募集要項に選考料と学費、教材費、行事費等卒業までに必要な費用を明記している。	3.3.1
7	5	4	学校案内、ホームページ、学生募集サブツール	学校案内やホームページ、学生募集サブツールにおいて、正確な動物看護師統一試験合格率や就職率を明記している。	3.1.2 e)
7	6	4	学生便覧、授業科目概要	入学時や進級時オリエンテーションにおいて、評価方法や評価基準、学位授与等について周知している。	3.3.1 a)
7	7	4	学生個人カード、学生対応表	学力不足や障がい等の特別なニーズは、入学後の個人面談で把握しており、学生個人カードや学生対応表により教職員がニーズを共有して、学習サポートプログラムや個別サポートによって、個別ニーズに対応している。また、入学前に受験生から特別なニーズに関して相談があれば、担当部署等において協議し対応している。	3.1.2 d)
7	8	3	学生便覧、授業科目概要、オリエンテーション資料、学校保健安全に係る規程、個人情報保護に関する基本方針	カリキュラムや時間割、教員、施設・設備、個人情報の取り扱い、学内外で発生した病気や怪我の対応等は、入学オリエンテーション時に学生に案内しているが、保護者には周知徹底できていない。 特記事項:平成29年度に、新入生の保護者向け資料を作成して送付する。	3.3.1 c)
7	9	4	学生募集要項、近隣地区動物系専門学校学納金等調査表	近畿地区の動物系専門学校の学納金等を調査した結果、教育内容や施設・設備、学修成果等から妥当な金額設定となっている。	3.3.1 x)

8 教育の内部質保証システム		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項	
8	1	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	授業アンケート	学生による授業アンケートを実施して、授業評価の低い教員には面談を行い、授業改善に向けた指導を行っている。	3.4 3.5.1 d)e)
8	2	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか (教育内容やカリキュラムを評価しているかまたその評価方法、手段、スケジュールはどのようであるか) (3段階評価:4・3・2)	3	授業アンケート、授業改善報告書、 授業参観評価表、授業参観報告書	<p>教務委員会が授業アンケートを実施し、授業方法や授業内容等について評価し、運営会議において評価結果から面談が必要と判断した教員には、校長と副校長が面談を実施して授業改善等に取り組んでいる。</p> <p>また、平成28年度に評価項目を定めた「授業参観評価表」と「授業参観報告書」の様式を作成し、評価者の要件を校長、副校長、教務委員長、学術顧問及び専任教員と定めた。</p> <p>本年度の授業参観が終了しているため、「授業参観評価表」を用いた授業参観と、「授業参観報告書」の作成は平成29年度になる。</p> <p>更に、学生による授業アンケートや授業参観以外に、新任教員対象の研修会の実施も平成29年以降取り組む。</p> <p>特記事項:平成29年度から、上記要件を満たした評価者が「授業参観評価表」を用いて参観授業を実施して、実施結果を「授業参観報告書」としてまとめ、学校として組織的にFDに取り組む。</p> <p>また、新任教員の研修会についても時期・内容等について検討する。</p>	3.5.3 a) 3.5.3 b)
8	3	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	教育委員会議事録、運営会議議事録	施設・設備に関しては、毎年事務局が教員から出された改善点を取りまとめ、全日本獣医師協同組合の監修を受けて、運営会議において施設・設備計画を策定し、動物病院に近い環境の整備に取り組んでいる。	3.5.3 d)
8	4	教員及び職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	4	職務分掌規程	職務分掌規程にある職務分掌は、毎年見直しを行い、必要に応じて改正している。	4.6.1
8	5	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	専任教職員・非常勤講師一覧、目標発表会資料、人事考課表、職務分掌規程	毎年2回コンピテンシーと関連付けた教職員の人事考課を行い記録している。	4.6.2 a), b),e)
8	6	教職員の仕事に対する意欲や満足度について聞き取りを行っているか	3	目標発表会資料、 教職員面談報告書	<p>年2回目標発表会を実施し、教職員の目標設定とその達成度について全教職員で共有し確認を行っているが、面談は行っていない。</p> <p>特記事項:平成29年度以降、教職員の面談を実施し記録に残す。</p>	4.6.2 c)
8	7	専門分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか) (3段階評価:4・3・2)	4	研修計画書、個人研究費規程、セミナー報告書	学校として夏期休暇等を利用して教職員研修を実施している。また、学会やセミナー等への参加助成を目的として個人研究費規程を定め、専門知識・技術の修得や指導力向上に取り組んでおり、個人研究報告書として記録している。	4.6.2 d)
8	8	動物系関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	専任教職員・非常勤講師一覧	専任講師・非常勤講師ともホームページによる公募を原則としているが、大阪府立大学や大阪府獣医師会、大阪市獣医師会、全日本獣医師協同組合、株式会社ネオベッツの協力を得て、本校の求める優秀な教員の確保に努めている。	4.6.2 x)

8 教育の内部質保証システム		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
8	9		個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	個人情報保護規定、個人情報保護に関する基本方針、特定個人情報の取扱いに関する基本方針、ID・パスワード・アクセス権限等設定、SSL導入、文書管理リスト	個人情報保護規定や基本方針に基づき、保有する個人情報の適切な取り扱いに努めており、パソコンやサーバーへのアクセス権限等を設定しセキュリティ対策に取り組んでいるが、耐火金庫や耐火性のある書庫等が整備されていないため、適切な個人情報の保護ができていない。 特記事項：平成29年度以降、隣地施設に職員室を移転し、耐火金庫や耐火性のある書庫を整備するとともに、第1校舎5階小動物舎を書庫にする。それに伴い文書管理を徹底し、個人情報の保護に取り組む。	4.1
8	10		法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	学校関係者評価委員会議事録	関係法令及び設置基準に基づき適切な学校運営を行っているか自己評価し、学校関係者評価委員会の外部委員による点検を行っている。	4.6.2 f)
8	11		文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	3	文書保存規程、文書管理リスト	文書保存規定及び文書管理リストにより適切に文書管理を行っているが、耐火金庫や耐火性のある書庫等が整備されておらず、保存年限を超えた文書の廃棄についても定期的にも実施できていない。 特記事項：平成29年度以降、隣地施設に職員室を移転し、耐火金庫や書庫等の整備に取り組み、保存年限を超えた文書の廃棄については、定期的に行う。	4.1
8	12		内部監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	内部監査体制・スケジュール、内部監査報告書、内部質保証人材養成講座修了証	一般社団法人全国動物専門学校協会主催の内部質保証人材養成講座を修了した内部監査員2名による内部監査を実施し、内部監査報告書を作成している。監査結果は当該部署の責任者に報告している。	4.9 a)～c)
8	13		内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	内部監査報告書	内部監査報告書において、改善すべき課題や問題点を明確に指摘している。	4.9 d)
8	14		内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	4	内部監査体制・日程、内部監査報告書、内部監査改善要求書、内部監査是正報告書	内部監査体制・日程を見直し、下記の内部監査手順を確立するとともに、「内部監査改善要求書」「内部監査是正報告書」作成し平成28年度内部監査を実施した。 ①内部監査後に、内部監査リーダーが「内部監査改善要求書」を作成する。 ②「内部監査改善要求書」に基づき、自己評価担当者と学校自己評価委員会が「内部監査是正報告書」を作成する。 ③学校自己評価委員会において、内部監査結果を反映させた学校自己評価報告書を完成する。 ④内部監査担当者が決められた期限内、是正処置が適切に実施されたか確認をする。	4.9 e)
8	15		自己点検・評価結果を公表しているか	4	ホームページ	自己点検評価報告書をホームページにおいて公開している。	4.9 x)

9 財務		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4 会計監査報告書	公認会計士の指導の下、適切な会計処理が行われており、監事による会計監査も実施されている。	4.5 a)
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4 ホームページ、情報公開規程	学校ホームページにおいて、貸借対照表等の財務諸表を公表している。	4.5 a)
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3 財務諸表	<p>帰属収支差額比率もプラスのまま維持できており、近年の財務状況は安定している。本年度は不動産の売却により、借入金もなくなり財務基盤の改善ができた。</p> <p>特記事項: 中期財政計画を作成し特別会計等を設置することにより、教職員室の移設など、今後予定されている支払資金に対して、計画的に資金計画を設定していく必要がある。</p>	4.5 a)x
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 資金収支予算書	事業計画に基づいて予算書を作成し、定期的に執行状況を確認している。	4.5 a)x

10 社会貢献・地域貢献（工藤・苜谷）		評価	エビデンス (文書番号)	総括	要求事項		
10	1		学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	継続教育(卒後教育)プログラム、ペピアカデミックフェスタプログラム、動物愛護フェスティバルプログラム	動物看護師向け卒後教育の提供や大阪動物愛護フェスティバルにおいて健康診断等を実施している。 また、グループ会社の主催するペピアカデミックフェスタを共催し、動物看護師対象セミナー等を提供している。	
10	2		学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	動物愛護フェスティバルプログラム	大阪動物愛護フェスティバルの学生ボランティアを募集し、教職員と共に参加している。地域貢献の一環として、学校周辺の清掃活動を行っている。 その他のボランティアについては、学生からの問い合わせがあった場合に担任等が対応するにとどまっているため、学校から積極的に奨励、支援できるように検討する。	
10	3		地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3	継続教育(卒後教育)プログラム、ペピアカデミックフェスタプログラム	動物看護師向け卒後教育の提供やグループ会社の主催するペピアカデミックフェスタにおいて、動物看護師対象セミナー等を提供している。 特記事項:新日本カレンダー(株)が運営するペット共生型高齢者住宅「ペピイハッピープレイス(PHP)」との提携による地域に対する公開講座や教育訓練についてを検討する。	